



# 図書館だより



NO.5

2009/09/01

ノートルダム学院小学校図書館

## 9月

朝夕は少し<sup>すず</sup>涼しさを感じられるようになりましたね。だんだん日も短くなって、夜が長くなるので、古いよび方では、9月のことを「夜長月（よながつき）」<sup>ながつき</sup>と言い、略して「長月」とも言います。「読書の秋」も近いです。

## － 夏休み、楽しい読書ができましたか？ －

時間を気にせず、好きなだけ本を読むことのできる夏休み。みなさんはどんな本とワクワク・ドキドキの出会いをしましたか。「これはおもしろい」「とてもよかった」などの本から読書感<sup>かんそうぶん</sup>想文を書きましょう。校内読書感想文コンクールがあります。良い作品は、校外のコンクールにも参加します。

## － 読書とかんそう文 －

○まず、自分にあつたよい本に出会うことです。

どの本でもかんそう文が書けるかという、なかなかそうはいきません。本を読んでいるうちに、自分の心が強く動かされるような本がいいですね。よい本を選びましょう。

○つぎにその本をよく読むことです。

くりかえし何回も読みましょう。

○自分の経験と似ているところ、またちがっているところなどを比べてみましょう。

自分の思ったこと、感じたことを自由に書いてみましょう。

○それから、もう一度あらためて考えてみてください。

読書かんそう文を書くということは、「自分を見つめること」なのです。

あなたにしか書けないものを書いてみてください。



## － 国際識字デー 9月8日 －

文字の読み書きができることを「識字<sup>しきじ</sup>」と言います。みなさんは、学校で文字を書いたり読んだりする学習をしているので、新聞や本を読んだり、自分の思いや考えを文章に書くことができますね。でも世界では貧しさや戦争のため、学校に行けないので、文字の読み書きができない人が、15才以上の人で8億8000万人（2000年現在）います。文字を読めないと薬のラベルを読みまちがえたり、買い物<sup>かいもの</sup>の計算で失敗したりします。

1965年（昭和40年）9月8日、ユネスコ主催の世界文相会議に出席していたイランのパーレビ国王が1日分の軍事費を識字教育に回すよう提案したことを記念して制定されたのが「国際識字デー」です。国連は、1990年を「国際識字年」として、識字の大切さを訴えました。日本には、国際識字文化センター（ICLC）が東京にあります。

ICLCは、1997年5月、日本・インド・韓国・中国・アメリカの5カ国の有志による国際NGOとして東京に設立された組織です。アジア・アフリカなど発展途上国の子どもたちの識字教育や基礎教育のために、学校や図書館を建てたり、国境を越えて平和絵本や環境絵本を共同でつくる活動などを行っています。

ほかに、どんな人たちがどんな活動をしているか調べてみましょう。